

事務事業名		綾里簡易水道施設整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業					
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目					
	施策名	20 良好な生活空間の創造				会計	款	項	目	事業	
	基本事業名	02 上水道・簡易水道の整備		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)		16	01	01	02	02	
根拠法令		水道法		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 28 年度～ 1 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分					
所属	部課名	都市整備部簡易水道事業所		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)							
	課長名	千葉 洋一									
	係名	簡易水道係	電話			0192-27-3111					
	担当者	橋本 邦彦	内線			172					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
綾里簡易水道は、不動沢と綾里川ダム水を水源としているが、綾里川ダム水のマンガン濃度が高く、渇水時には膜ろ過設備の膜閉塞による断水が懸念されているため、マンガン除去施設整備を行うことにより、これを消すると同時に、綾里川ダム水の直接取水により、渇水時でも安全な水を安定的に供給することができるようになる。						総投入量(千円)	事業内訳		国庫支出金		
マンガン除去施設整備							都道府県支出金				
①マンガン対策検討調査							地方債		422,200		
②詳細設計							その他		10,493		
③変更認可申請書作成業務委託							事業費計(A)		432,693		
④マンガン除去施設整備工事							正規職員従事人数		1		
						延べ業務時間		2,300			
						人件費計(B)		9,200			
						トータルコスト(A)+(B)		441,893			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
マンガン除去施設整備工事		ア	マンガン除去施設整備
		イ	
		ウ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)			
マンガン除去施設整備工事			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
綾里簡易水道使用者		名称	
		単位	
		カ	給水区域内人口
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
マンガン除去施設整備をすることによって、綾里川ダム水の直接取水が可能となり、渇水時でも安全な水を安定的に供給することができる。		名称	
		単位	
		サ	給水人口
		シ	年間有収水量
		ス	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
住みやすい生活環境になる。			

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円			17,300	110,100	294,800	
		その他	千円		4,752	5,548	93	100	
		一般財源	千円						
	事業費計(A)		千円	0	4,752	22,848	110,193	294,900	0
	人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間		600	700	500	500	
		人件費計(B)	千円	0	2,400	2,800	2,000	2,000	0
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	7,152	25,648	112,193	296,900
⑤ 活動指標		ア	箇所	1		1		1	
		イ							
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	人	2,501	2,436	2,394	2,321	2,249	
		キ							
		ク							
⑦ 成果指標		サ	人	2,365	2,305	2,267	2,202	2,133	
		シ	m³	186,957	180,983	177,784	176,218	164,159	
		ス							

事務事業ID	1157	事務事業名	綾里簡易水道施設整備事業
--------	------	-------	--------------

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等**
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
 平成12年9月、マンガン濃度の高い綾里川ダムの原水により綾里浄水場膜ろ過設備の膜閉塞が起き、断水となった。このため、マンガン除去施設の整備が必要とされ、合併建設計画や総合計画に事業登録してきたが、これまで実施に至らなかった。平成28年度に、マンガン対策検討調査を行い、マンガン除去施設整備が認められた。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
 平成29年3月末にマンガン高濃度を起因とした濁水(赤水)が発生した。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 地元から、濁水及び断水にならないようにしてほしいという要望が寄せられている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	簡易水道施設の整備は、安全な水を安定的に供給することにつながり、その結果、潤いに満ちた快適な都市環境の創造に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	上水道の整備は、水道法で定められた地方公共団体の義務であり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	整備の対象が綾里簡易水道であり、その給水区域内人口を対象としていることから、限定・追加はできない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	現在、綾里簡易水道の給水普及率は現在94.6%であり、住民の水道への依存度は高いが、すべての住民に良質な水を供給するために、さらに普及率を高めていく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	事業を廃止・休止すれば、濁水時に安全で安定的な水道水の供給ができなくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	既存施設を最大限に利用した施設整備にする形で、事業費の圧縮を図っており、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げるにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	施設整備に必要な変更認可申請書作成及び設計業務は、専門業者への委託で対応している。そのほかの工事発注業務等は、必要最小限の担当者で対応しており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	簡易水道使用者から給水負担金及び水道料金を徴収しており、負担は適正である。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 快適な生活環境に資するため、引き続き事業を推進し早期完成を目指す。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	当事業は、綾里地区における生活用水の供給に直結する課題であり、この改善には地元からも大きな期待が寄せられているので、計画どおり実施していく。